

## 36 高次脳機能障害者の I T 訓練に関する取り組みについて

指導部生活訓練課 水本 達也 高橋 文孝 林 八重  
吉田 洋美 川嶋 陽平 嶋田 由希  
指導部指導課 春日井 中

### 1 はじめに

当センターの自立訓練事業の生活訓練において、コミュニケーション訓練の一環として、I T 訓練を実施している。目的は I T 技術の向上及び作業耐性の向上、余暇活動の充実であり、本発表では生活訓練課がこれまでに高次脳機能障害者に対して行ってきた I T 訓練に関する取り組みを報告する。

### 2 訓練概要

- (1) パソコンの基本操作
- (2) タイピング
- (3) ビジネス文書の作成
- (4) メール
- (5) インターネット
- (6) 表計算
- (7) グラフの作成

基本的な項目は上記の内容である。必要な訓練項目はアセスメント、動作確認、カンファレンスを経て個別訓練計画として選定を行う。

### 3 特徴

生活訓練では就労を希望し、仕事に就くためにパソコン技術を身につけたいという希望がある人が多い。しかし耐久性や代償手段の未獲得の状況が見られるため、それらを獲得するために興味のあるものやモチベーションの向上できるものとしてパソコンを利用した訓練を行っている。

主としてグループ訓練の形態で、他の訓練生と同じ場で行うことで、自分自身の目で周囲の状況を確認し、適切に作業する機会を得ること及び協調性や様々な相乗効果を含め訓練効率の向上をねらい行っている。

また、障害の種別によっては積み重ねの学習で効果を発揮できないこともあるため、手順書等を適切に活用できるようにするために必要に応じて個々に応じた環境設定の配慮を行っている。

### 4 まとめ

これまで高次脳機能障害者へ対して、一般的なパソコンの基本的操作の習熟を目指し行ってきたが、利用者の障害状況及び訓練目標によって、訓練の観点を変えていくことが重要であると思われる。今後、これらを踏まえ暫定的な基準を設けアセスメント、支援計画に反映していくことを繰り返し、訓練内でも効果測定を行い、訓練の組み立て方、またそのマニュアルの作成に向けて生かしていきたい。